

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

ハンサムな、でも
おろかな王さま



ぶん
文: E. Duncan Hughes

え
絵: Janie Forest

かいさくしゃ
改作者: Lyn Doerksen

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki
監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ
出版社: Bible for Children
www.M1914.org

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか 許可: たにん 他人に う 売らない かぎ 限り はなし このお話の また コピー、又はプリントは、
きよか 許可されています。



イスラエルでリーダーであったサムエルは、人々を裁く人として、みんなに正しいこと、正しくないことを教えていました。でもね、そのサムエルもだんだん年をとってきました。そこでサムエルは、

2人のむすこに、かれの代わりをさせることにしました。神さまに仕え、

イスラエルの人々を裁く人となるようにね。けれども、むすこたちは、あまりよくない人たちだったのです。かれらは、

お金が大好きなのです。

かれらは、主に仕えないで、

自分たちの力を、お金をごまかしてもうけるためばかりに使っていました。



ひとびと

わる

おこな

イスラエルの人々は、サムエルのむすこたちがとても悪く、ひどい行いばかり

かね

かんが

していたのでほんとうにたいへんです。お金をもうけることばかり考えている

さば

ただ

おこな

ひとびと

さば

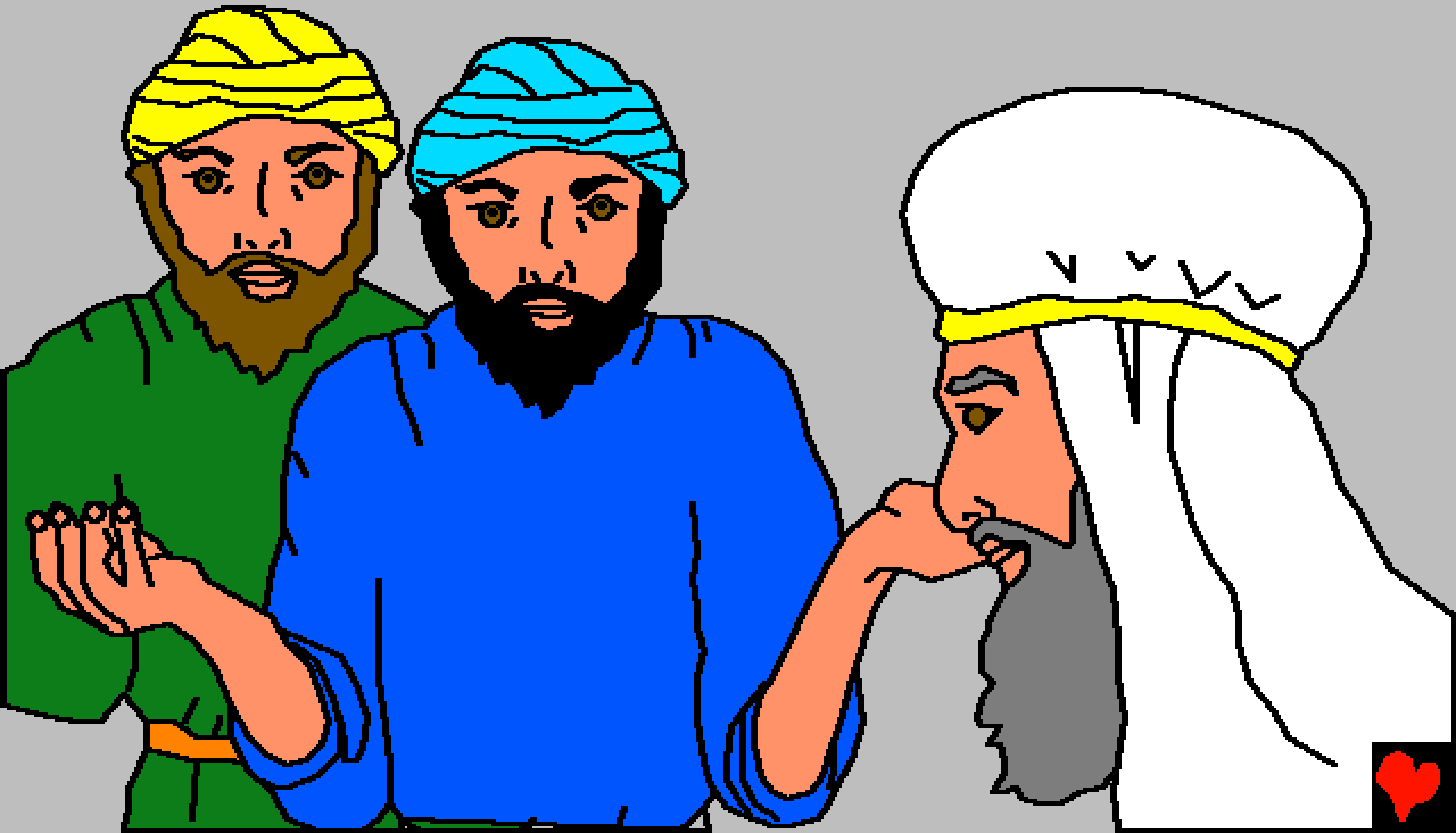
かれらの裁きは、正しく行われませんでした。人々は、裁いてもらうたびに、

かね はら

サムエルのむすこたちにお金を払わなければなりません
りませんでした。

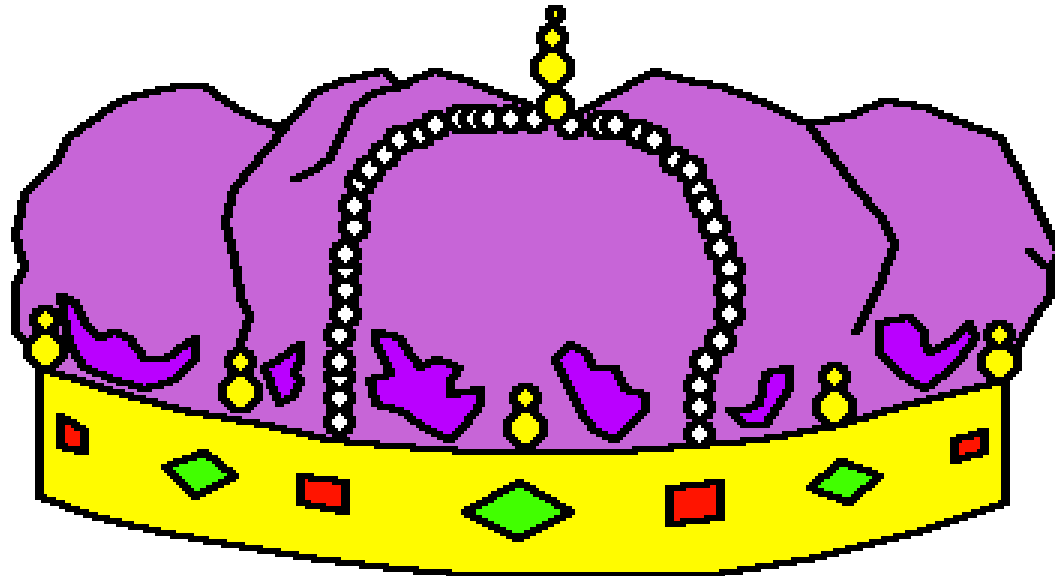


このままじゃ ^{なん}たいへんですね。何とかしなければ・・・。そこで、ある日のこ
^{とし}と、お年よりたちがあつまり、^{なに}何やらそうだんしてサムエルにたのみました。^ひ



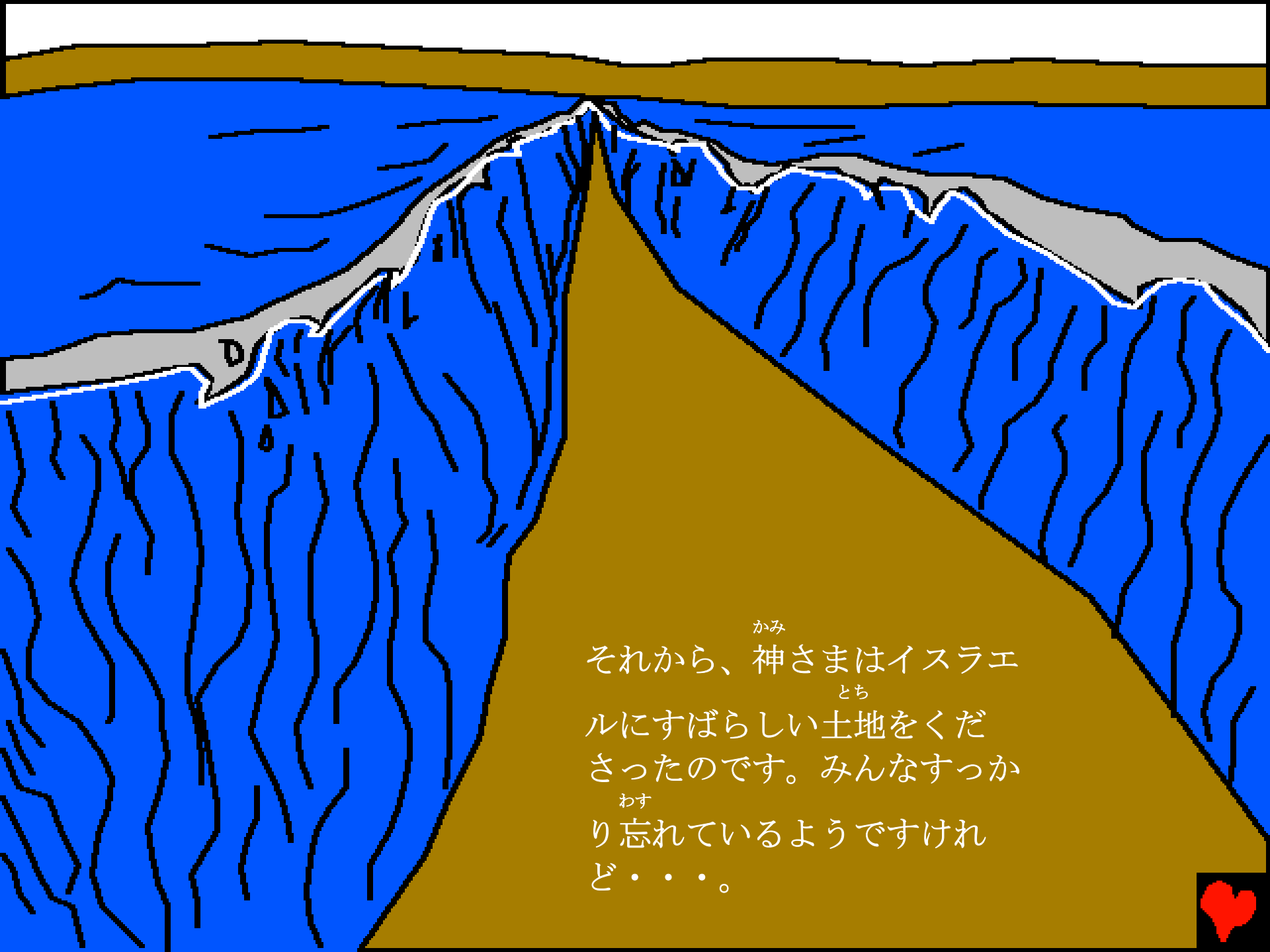
「ぜひ、わたしたちを正しく裁くあたらしい王さまを、与えてください。」

お年よりたちは、サムエルに何度もつよく言いました。かれらは、サムエルの
悪いむすこたちに、自分たちを裁いてもらうのは、もうまっぴらでした。かれ
らは、ちょうどイスラエルのまわりの国々と同じように王さまがほしかったの
です。



これを聞いたサムエルは、怒りましたよ。「イスラエルには、もう王さまがい
らっしゃるではないか。」と言ってね。神さまは、何でもおできになって、い
つまでもいらっしゃる方です。そして、わたしたちをずっと支配してくださっ
ているのです。その昔、神さまは、エジプトでどれいとなり苦しんでいたイス
ラエルの人々を、自由にしてくださり、そこからのがれるために、紅海に道をつ
くり、わたらせてくださったのでしたね。





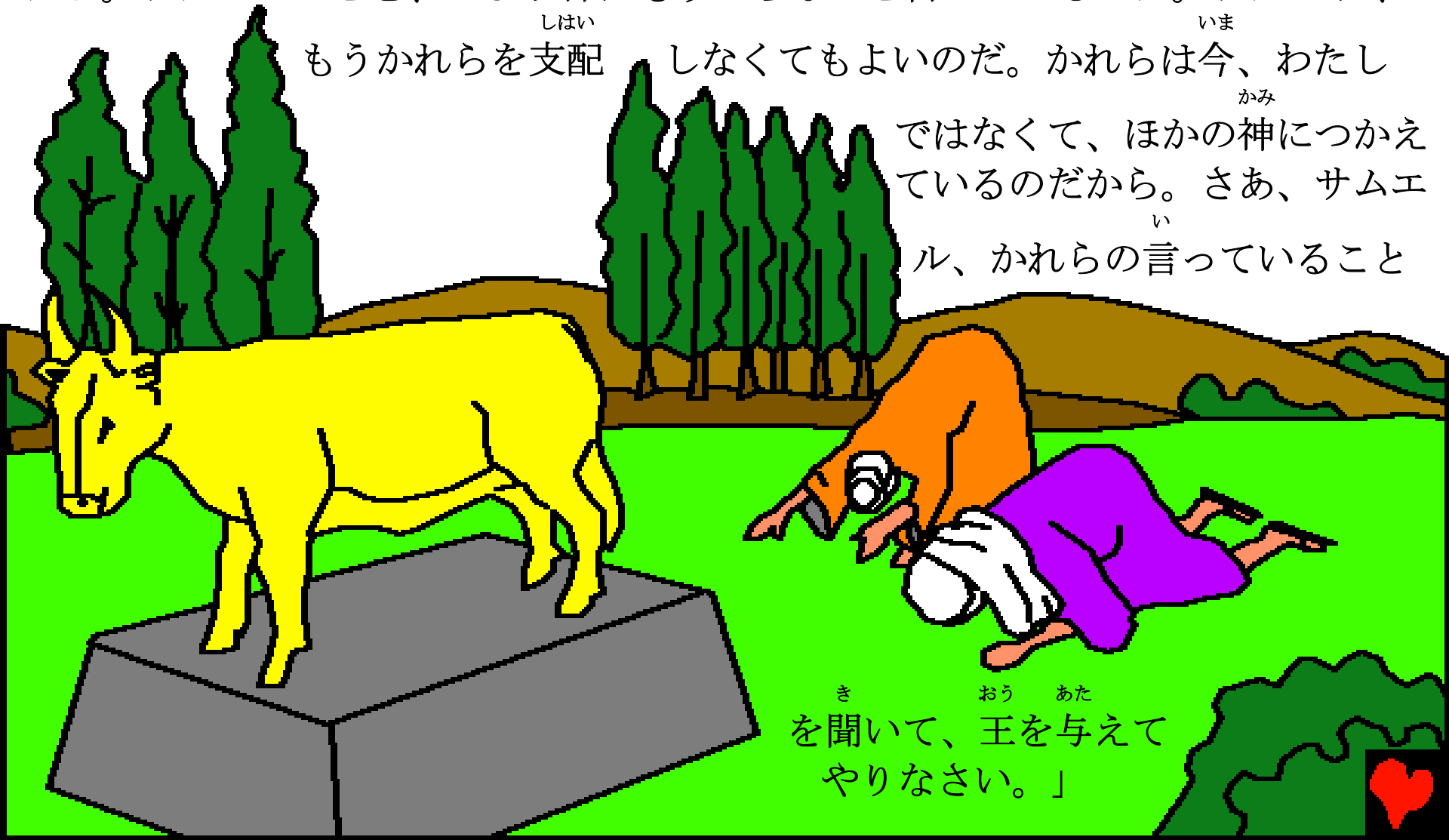
それから、神さまはイスラエ
かみ
ルにすばらしい土地をくだ
とち
さったのです。みんなすっか
わす
り忘れていたようですけれ
ど……。

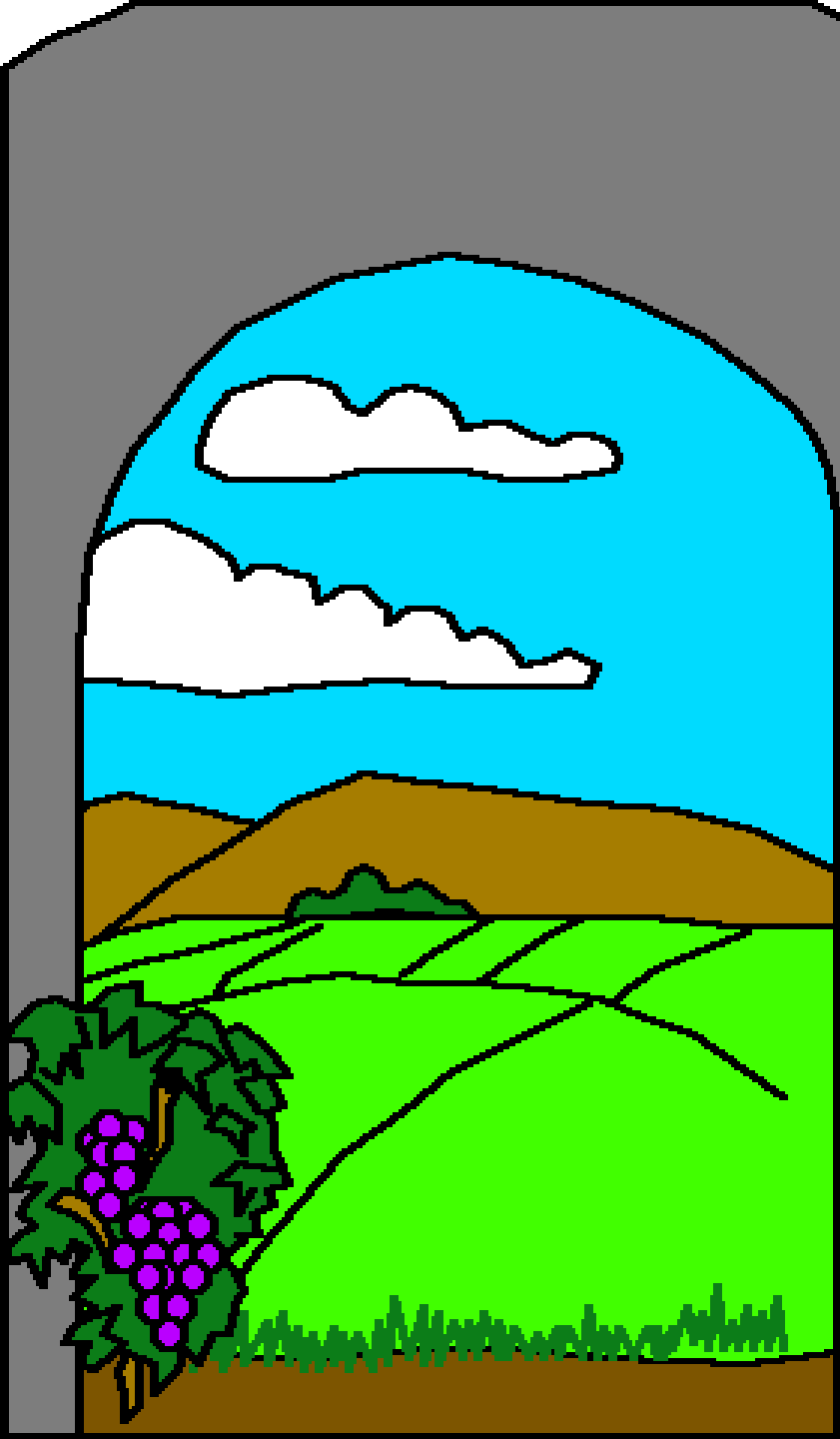


そこで、サムエルは祈りました。すると、神さまが答えてくださいました。「サムエル、イスラエルの人々は、あなたのことをいらないと言っているのではないのだよ。わたしのことを、つまり神はもういらないと言っているのだ。わたしは、もうかれらを支配しなくてもよいのだ。かれらは今、わたし

ではなくて、ほかの神につかえているのだから。さあ、サムエル、かれらの言っていること

を聞いて、王を与えてやりなさい。」





それから神さまは、^{かみ}言われ^いました。

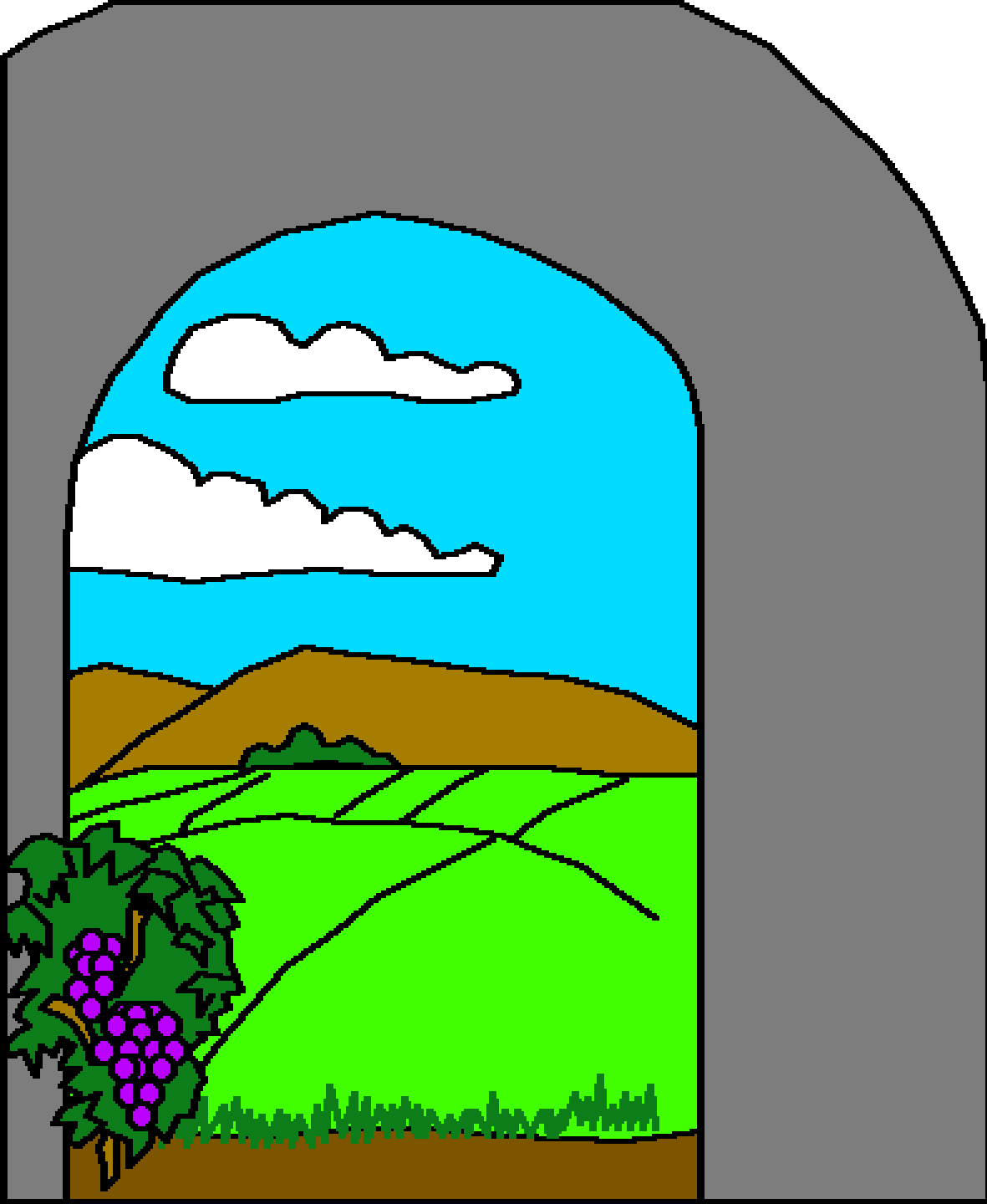
「サムエル、わたしが今から言う^{いま}ことを、イスラエルの人々に^い知らせなさい。」そこで、サ

ムエルは、みんなに神さまか^{かみ}らのことばを^{つた}伝えましたよ。

「イスラエルの人々よ、よく^{ひとびと}聞きなさい。この世での王^きは、あなたがたから、ぜい^よ金^{おう}を取り^{きん}たてる^とだろう。

また、いちばん良い地とブド^よウ畑^ちを取りあげてしま^ようだ^ちらう。^{ばたけ}





むすこたちは、^{ぐん}軍^{はい}たいに入
らなければならぬだろ
う。そして、むすめたち
は、^{おう}王^{つか}のために仕えなけれ
ばならぬだろ。」





き ひとびと
それを聞いても人々は、
おう
やっぱり王さまがほしい
い
と言いはりました。





あるとき、神さまはサムエルを1人のわかい男の人に会
わせられました。その人は、とてもハンサムで、とても
はずかしがりやで、それにととても背が高い人で
した。他のだれよりも、あたま1つ分く
らいは、高いようですよ。その人の
名前は、サウル。サムエルが、
サウルに会ったとき、主は言わ
れました。「このサウルが、
わたしの民イスラエルを
支配するだろう。」

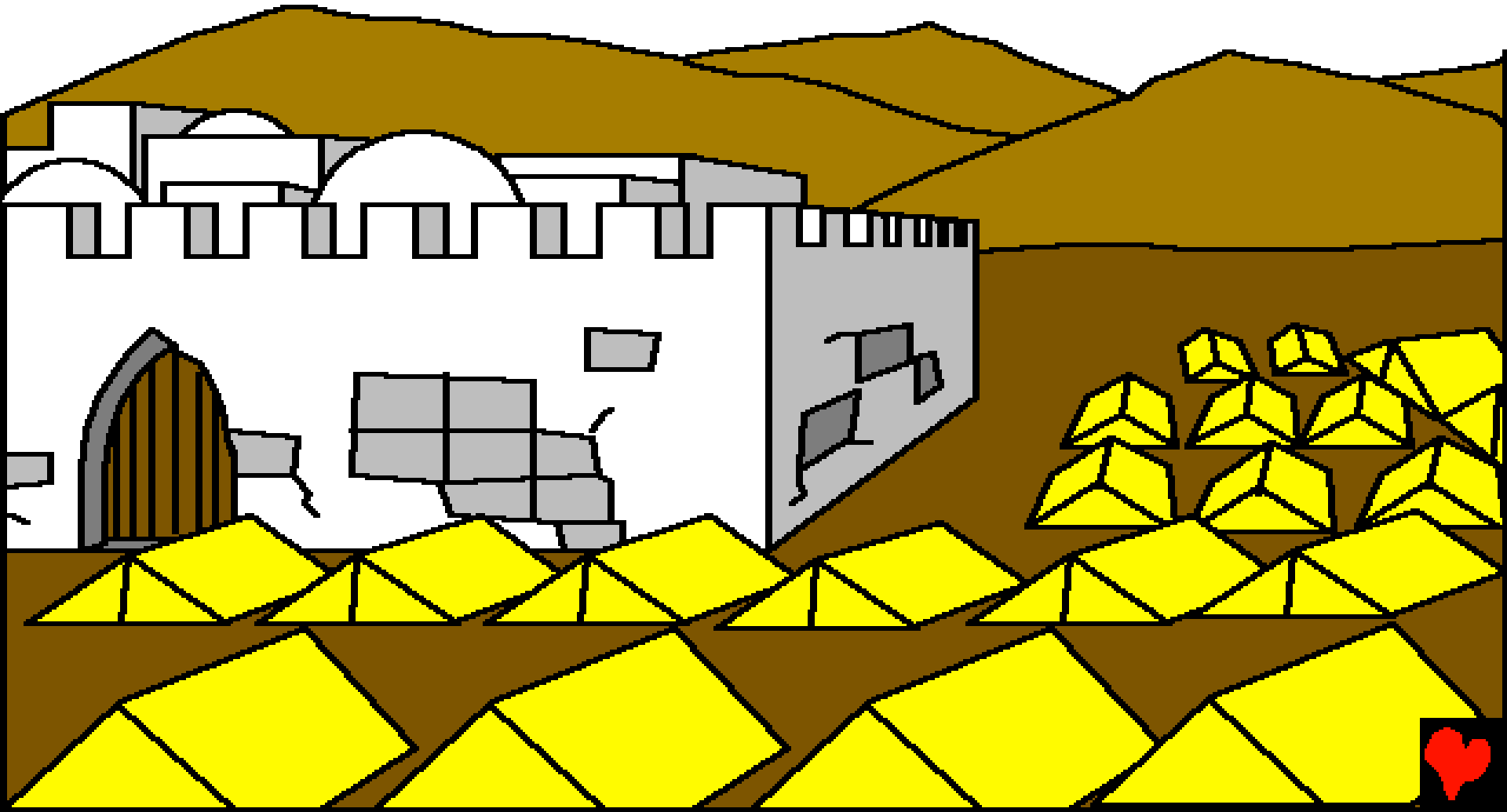




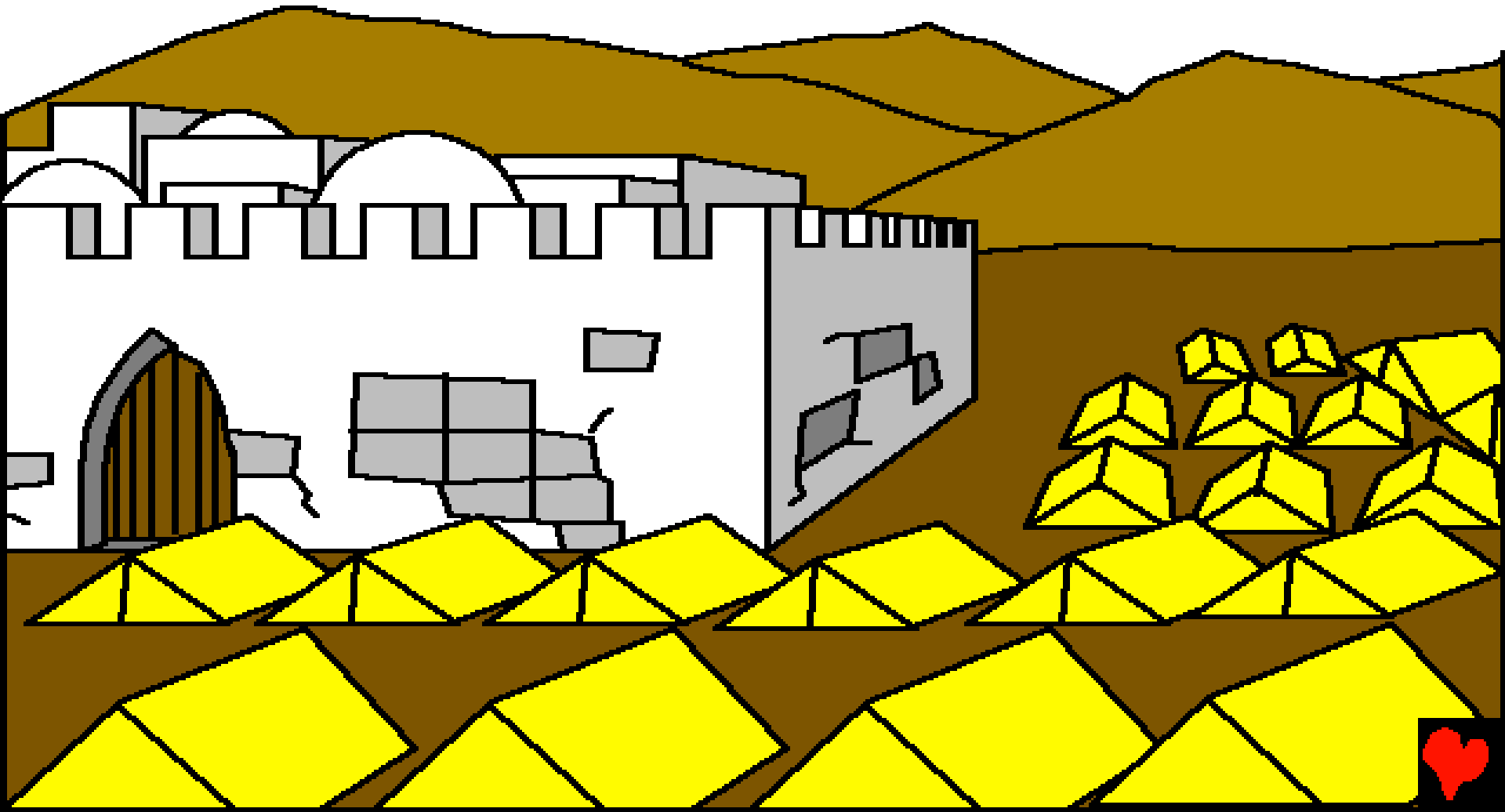
サムエルは、主のことばにすなおに
したが、サウルをイスラエルの王
として、かれのあたまに油を注ぎ
ました。そして、サムエルはイスラ
エルの人たちの前にサウルをつれて
きますと、みんなはよろこびさけび
ました。「ばんざい！わたしたちの
王さまだ！」



それからすぐのことです。サウル王は、さっそくつよい王さまかどうか、ためさ
れる時ときがやってきましたよ。イスラエルをにくんでいたアマネク人じんが、イスラエ
ルのある町まちを、取りかこみ、そこに住すんでいる人々ひとびとをおどかして、こう言いいまし
た。



「おい！ここに^す住んでいる^{おとこ}男たちみんなの^{みぎめ}右の目を、くりぬいてやるぞ。」
なんてひどいことでしょう！ その^{はなし}おそろしい話は、すぐ^{おう}サウル王の^{つた}ところに伝
わりました。サウル王は^{おう}すぐに^{ぐん}軍たいをつくり、^{ようい}たたかう用意をしましよ。





こうして2つの軍、アンモンとイスラエルがたたかいました。さあ、どちらが勝ったのでしょうか。そう、イスラエルの軍です。サウル王は、アンモン人たちをうち負かし、イスラエルのその町を救うことができましたのです。それはね、サウル王が、神さまからのつよい霊の力をいただいたからなのです。サウルは、みんなに言いました。「今日、主がわたしといっしょにいて、イスラエルを救ってくださったのだ！」



ひ かみ しょうり
そうです。その日、神さまは、サウルにすばらしい勝利をくださいました。けれど、サウルは、いつも神さまの言われることをだいいとし、したがっていたわけではないのです。ちょうどペリシテ人との戦いの前のことです。ある日、

じん たたか まえ ひ
サウルは自分でかってに、神さまにささげ
もの
物をしましたよ。



かみ

じつはね、神さまへささげものをするのは、サウルではなくサムエルがするしごとでした。そしてサウルは、そのことを、よく知っていたのです。また、神さまがもうすぐサムエルが来るのでそれまで待つようにと、思われていることもよく

わかっていました。でも、サウルは、神さまにしがいませんでした。



さて、そこにサムエルがやってきました。かれは、サウルのしたことを
し
い
知って言いました。「サウル、あなたはなんておろかなのだ。なんて

バカなことをしてしまったんだろう。なぜ、あなたの神、主とのやく
かみ しゅ

まも
そくを守ることができないのだ。もうこれからは、

おうこく
あなたの王国は

なが
長くつづ

かない

であろ

う。」



じぶん
サウルは自分がしたことは、ほんの小さな罪だと思っただけかもしれません
ね。でもね、決してそうではないのですよ。神にしたがわないことは、
ちい つみ おも
おお おお つみ
どんなときでも、大きな大きな罪なのです。



それからしばらくして、神さまはサウルにめいれいしました。「アマレクの人々

ひとり

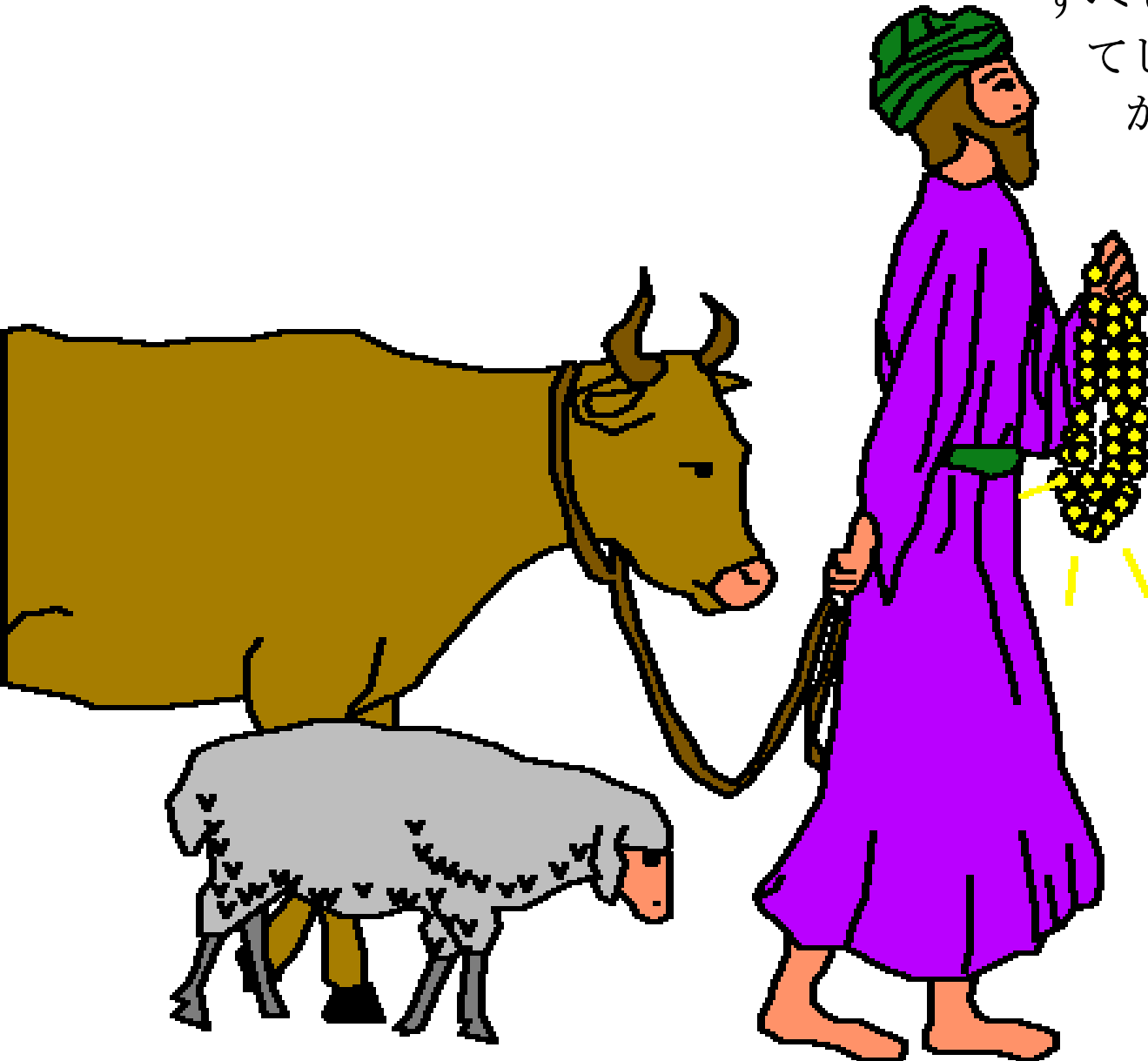
すべて1人のこらずやっつけてしまいなさい。」ところが、このときもサウルと

ひとびと

イスラエルの人々は、

かみ

神さまのめいれいにしたがわず、アマレクのアガ
おう ころ
 グ王を殺さない
い
 で生かしておいたのです。



かれらは、また ^{やく た}ウシやヒツジなど役に立

ちそう^よで良^よさそう^よなものだけをのこして、

^{じぶん}自分たちのものにしておきましたよ。

これらのものは、^{しゅ}主にささげるのだから

^と取^いっておくのだと言ってね。



サムエルは、サウルに言いました。「サウル、神さまにしたがうということは、
ささげることよりも、もっともっと大切なことなのだ。

あなたは、主のことばを聞かなかった。だから主も

また、あなたのことばを聞かれない。あなたは、

もうイスラエルの国王でなくなるのだ。」その

とき、サウルは自分がほんとうにまちがったこ

とをしていたことに、気がつきました。でも、
もうおそすぎたのです。それからのサウル

の人生は、どうなったでしょう。ちっ
ともしあわせではなかったのす。

どうしてって、サウルは主にし
たがおうとしなかったからで
すね。



ハンサムな、でも おろかな王さま

かみ み せいしょ する
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

きじょう しょう しょう
サムエル記上 8 章 - 16 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っています。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、思っています。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくい、は、死です。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとて愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ し
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ
しん
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
わたし なか き つみ わたし いま
いらしています。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

